

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成26年3月27日

計画の名称	安全で安心な地域の交流拠点の形成（防災・安全）																																
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		交付対象	岐阜県各務原市																													
計画の目標																																	
公園施設について、安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る観点から、計画的な取組を推進するため「公園施設長寿命化計画」を策定し、それに基づき安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を行う。 また、地震災害時の復旧・復興のための生活物資の在庫基地となる防災拠点、周辺地区の火災等からの避難者を収容することに兼ね備え、広域的かつ多様なレクリエーションニーズに対応できる運動施設の整備を行う。																																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画の策定箇所：0箇所（平成23年度）→55箇所（平成24年度） 安全・安心対策実施箇所：0%（平成25年度）→100%（平成25年度） ヘリコプター離発着可能台数：7基（平成25年度）→11基（平成27年度） 長寿命化対策実施箇所：10.8%（平成26年度）→24.3%（平成27年度） 																																
定量的指標の定義及び算定式																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公園施設長寿命化計画の策定箇所</td> <td>=</td> <td>公園施設長寿命化計画の策定箇所</td> <td>0箇所</td> <td>55箇所</td> <td rowspan="4">※中間目標は任意</td> </tr> <tr> <td>安全・安心対策実施率</td> <td>=</td> <td>安全・安心対策実施箇所数 / 安全・安心対策必要箇所数</td> <td>0%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>ヘリコプター離発着可能台数</td> <td>=</td> <td>ヘリコプター離発着可能台数</td> <td>7基</td> <td>11基</td> </tr> <tr> <td>長寿命化対策の実施率</td> <td>=</td> <td>長寿命化対策実施箇所数 / 長寿命化対策必要箇所数</td> <td>0%</td> <td>24.3%</td> </tr> </tbody> </table>						定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	公園施設長寿命化計画の策定箇所	=	公園施設長寿命化計画の策定箇所	0箇所	55箇所	※中間目標は任意	安全・安心対策実施率	=	安全・安心対策実施箇所数 / 安全・安心対策必要箇所数	0%	100%	ヘリコプター離発着可能台数	=	ヘリコプター離発着可能台数	7基	11基	長寿命化対策の実施率	=	長寿命化対策実施箇所数 / 長寿命化対策必要箇所数	0%	24.3%
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																													
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)																														
公園施設長寿命化計画の策定箇所	=	公園施設長寿命化計画の策定箇所	0箇所	55箇所	※中間目標は任意																												
安全・安心対策実施率	=	安全・安心対策実施箇所数 / 安全・安心対策必要箇所数	0%	100%																													
ヘリコプター離発着可能台数	=	ヘリコプター離発着可能台数	7基	11基																													
長寿命化対策の実施率	=	長寿命化対策実施箇所数 / 長寿命化対策必要箇所数	0%	24.3%																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,594百万円	A	1,594百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																									

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
各務原市都市建設部内において実施	平成28年12月
	公表の方法
	ホームページで公表

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況（○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入） -：その他（備考欄に具体的に記入（中止、未実施等））

交付対象事業

A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-A-1	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	公園施設長寿命化計画策定事業(各務原市)	長寿命化計画策定 ※55公園	各務原市						26 26	○	
1-A-2	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	各務原市安全・安心事業	公園施設の改築・更新 ※5公園	各務原市						30 33	○	
1-A-3	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	都市公園事業(勤労青少年運動公園)	一時遊樂場用、ヘリコプター離発着機庫、生活・救援物資の在庫基地の確保(庫内備品広敷、修繕施設、路上駐輪場等)31,6ha 32.2ha	各務原市						1,500 1,303	△	平成28年8月末に完成
1-A-4	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	各務原市公園施設長寿命化対策	公園施設の改築・更新 ※11公園	各務原市						38 52	○	
合計													1,594 1,414			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H23	H24	H25	H26	H27			
合計													0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H23	H24	H25	H26	H27			
合計													0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

その他関連する事業																
計画等の名称	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-A'-2	公園		各務原市			緑化重点地区総合整備事業(川島地区、権現山周辺地区、学びの森周辺地区)		各務原市						88 88	○	
1-A'-3	公園		各務原市			吸収源対策公園緑地事業(川島地区、権現山周辺地区、中山道朝泊宿地区)		各務原市						96 93	○	
1-C'-1	公園		各務原市			運動公園設計事業		各務原市						33 33	○	
その他関連する事業																
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
								H23	H24	H25	H26	H27				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		安全・安心対策事業の緊急的な実施や、「公園施設長寿命化計画」を策定し、それに基づき公園施設長寿命化対策を計画的に実施し、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を行うことができた。 勤労青少年運動公園は、地震災害時の復旧・復興のための生活物資の中継基地となる防災拠点、周辺地区の火災等からの避難者を収容することに兼ね備え、広域のかつ多様なレクリエーションニーズに対応できる運動施設の整備を行うことができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（公園施設長寿命化計画の策定箇所）	最終目標値	55箇所	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	55箇所		
	指標②（安全・安心対策実施箇所）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標③（ヘリコプター離発着可能台数）	最終目標値	11基	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	11基		
	指標④（長寿命化対策実施箇所）	最終目標値	24.3%	目標値と実績値に差が出た要因	公園施設長寿命化計画の実施予定年度より早く劣化・破損等があった箇所について前倒して整備を行ったため。
		最終実績値	29.7%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
引き続き公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の修繕・改築等を進めていく。					

